

理事長 コラム

理事長 檜尾めぐみ



過日、2024年度NPO総会、経営指針発表会、入社式を行いました。

2006年に設立し今年度で19期目になるピュアでは8年前より毎年スタッフとともに経営指針書を作成しています。今年度は東大阪市本部、奈良県明日香村、橿原市の3つの事業所の全スタッフが一堂に会し、初めて経営指針発表会を試みました。事業所が東大阪市から他市に広がったことや、スタッフ数が50名を超え出した頃から（現在72名です）、理念やビジョンの共有が年々むずかしくなっていたのが課題でした。そこで全員集合を試み共有を図ることにしました。終えてみて、本当にやってよかったとスタッフ全員の表情を見て感じました。伝え合うコミュニケーションがいかに大切かを感じた1日でした。

経営指針発表会では当法人の理念「発達障害の方々と地域がつながり合う社会を実現する」ために、ピュア20年ビジョンと明日香ビジョンを確認し、現在の到達点を報告しました。8年前に定めた20年ビジョンですが、現在順調に一歩一歩あゆみを進めることができます。そして国内外の社会情勢と未来を予測した外部環境分析、ピュアの強み弱みを熟慮し、SWOT分析の結果を経て2024年度経営方針を立案しました。この経営方針をもとに、ファクトリー部門・アドバンス部門・児童部門・あすかファクトリー部門それぞれが1年間の行動目標プランを立案し、発表していただきました。どの部門も利用者さんとスタッフが共に楽しみながら成長できるワクワクする内容のプランばかりでした。



全部門による経営指針発表会



ビジョン到達点の報告



全職員集合写真

入社式では、今年度入社して下さった新卒者2名、経験者2名、合計4名の方より決意表明をしていただきました。「ピュアに入社して想像していたより楽しいです!」「色々学べます!」「異業種から転職したけれどこんな仕事があったんだと思い、もっともっと学んで頑張りたいです!」など嬉しいコメントをたくさん頂戴し、聞いていた私は嬉しくなりました。新入社員さん、先輩社員さん、そして私も、互いに刺激を受けながら、これからも一緒に成長していきたいと心から思いました。

ピュアは昨年2月に株式会社ピュアを設立しました。株式会社ピュアでは主に、奈良県明日香村のあすかファクトリーで行う観光農園、飲食業、食品加工販売業を行います。昨年12月より橿原市にオープンしたグループホーム「しょうぶ邸」も株式会社ピュアの運営になります。観光農園、飲食業、食品加工販売業では、多種多様なご利用者の仕事を創出することができます。そしてご利用者一人一人が強みを活かした適材適所の中で働くことを実現し、将来株式会社ピュアが1人でも多くの障害者を雇用していくことができると考えております。NPO法人発達障害サポートセンターピュアと株式会社ピュアは、今後グループ会社として経営していきます。障害がある人もない人も多様性を認め合う持続可能な社会づくりを担う企業として、これからも歩んでまいりたいと思います。今後ともピュアグループをよろしくお願い申し上げます。



ピュア20年ビジョンの図



明日香ビジョンの図

ビジネス雑誌プレジデント社の取材を受けました。

私は18年前、自閉症の息子の壮絶な子育て経験をきっかけに、同じような境遇の人たちを救いたいと思い、起業しました。記事では創業当時の想いや、ピュアが大きくなっていった足跡をわかりやすくまとめていただき、その時その時のシーンが思い出され、胸が熱くなりました。私が一番伝えたいことは、今の日本は、まだまだ社会の側の理解や配慮も十分でない現状があります。障がい者は一生涯、何らかのサポートを受けながら生きていきます。でも彼らは何もできないわけじゃないのです。「自立したい、人の役に立ちたい」と思っているのです。私は一人でも多くの障がい者を社会に必要とされる人材に育てたいと思っています。

私の究極のゴールは「安心して人生を終えること」です。私が死んだ後も、息子や、息子と同じ境遇の人たちに、変わらない日常があること。誰もが生きやすい社会になることです。私は同じ志を持つピュアスタッフと、ピュアを信頼して期待して下さっている方たちと共に、本気で社会を変えていきたいと思っています。ここまで成長させて下さったたくさんの皆さまに心から感謝します。そして、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

記事URL:「死ぬときはこの子を連れて行くしか…」発達障害の子をもつ専業主婦が児童精神科3年待ちの日本で始めた活動 国や行政が動くのを待ってられない <https://president.jp/articles/-/86381>

※こちらのQRコードを読み込んでいただくと読むこともできます。 →

